

事業報告書 (平成30年度)

事業名 ふるさとを知ろう「福谷八十八ヶ所巡り」

団体名 福谷おもしろえ〜マップ実行委員会 担当者名 田口 琢磨

※活動の様子がわかる写真(データもお願いします)と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容(日時、場所、参加対象者、人数、内容等)

平成30年9月30日

講演会「古文書から見える福谷の歴史」開催予定でしたが、当日、台風による大雨警報発令の為、後日延期とした。

チラシを1,500部作成し、地区(コミュニティハウス、郵便局、医療機関、各種団体等)、地区外(足守公民館、足守中学校、蛍明小学校、交流施設プラザ大井、JA等)に配布依頼し広報を行った。



広報チラシ1,500部

10月25日

福谷おもしろえ〜マップ「かわら版」45号を800部発行する。

福谷地区、足守中学校区の皆さん

内容

福谷八十八ヶ所巡りの実施日時のお知らせ、9月30日に中止となった講演会の日時、場所のお知らせをJA足守支所の協力により、福谷地区全戸(450戸)に配布する。また、足守公民館、交流施設プラザ大井、蛍明小学校にも配布依頼をする。



※発行: 福谷おもしろえ〜マップ実行委員会(〒730-0047 福谷 30-299-47)

11月14日

岡山市北区間倉、西山内、東山内、真星地内の福谷八十八ヶ所の通路及び札所
内容：実行委員3人で草刈り作業、倒木除去作業を行う



11月24日 8:00~16:00

岡山市北区西山内、粟井、間倉、東山内、河原
福谷地区住民、地区外の人 30人(巡礼者及びお接待をしてくださった方)
内容

福谷八十八ヶ所巡り 1日目を実施する。(第1番札所~第51番札所)
8:00~16:00まで約22Kmを歩いて地域の良さと自然豊かな里山、心温まるお接待を感じながら巡った。
また、札所には、札所番号の立札の設置を行った。
当日、ケーブルテレビOniビジョンの取材を受け、後日、放送があった。



11月25日 8:00~16:00

岡山市北区掛畑、真星、庄田、苔山
福谷地区住民、地区外の人 25人(巡礼者及びお接待をしてくださった人)
内容

福谷八十八ヶ所巡り 2日目を実施する。(第52番札所~第88番札所)
8:00~16:00まで約22Km歩いて地域の良さを見つける。
また、札所には、札所番号の立札の設置を行った。
当日の最後に、札所で、「参拝之証」にスタンプを押して参加記念として持ち帰った。



12月1日 13:00～15:00 福谷コミュニティハウス

福谷地区住民、地区外の人 50人

内容

「古文書から見える福谷の歴史」と題し、地元出身で、立命館大学衣笠総合研究機構・専門研究員の吉永隆紀先生を講師に、9月30日開催予定で延期した講演会を開催した。

福谷の歴史を知り、身近な宝物を見つけようと呼びかける講演内容は、①福谷の集落はいつできたのか？②福谷の武士たち③福谷の戦国時代④豊臣秀吉の朝鮮出兵と福谷⑤江戸時代の福谷の村人についての講演でした。

また、この講演90分間全内容について、Oniビジョンにより収録があり、後日放送された。



12月20日 15:00～16:00 聞き書き調査

知人宅にて3人の会となった。

内容

98歳のお婆ちゃんの学校時代おことを中心に聞き取り調査を行った。この活動は、来年度の主テーマとして活動していく予定です。



<p>2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ</p>
<p>私たちは、住んでいて良かったと感じ合える地域づくりを考え、身近なものの再発見・再認識し、高齢者から地域のあり様を聞き伝え、地域の文化伝統を将来に伝えていく活動を行った。</p> <p>2000年よりの主テーマである「福谷八十八ヶ所巡り」の活動は、地域全体を歩くことにより身近な地域を知ること。また、歴史専門の講師による地域の歴史を知ってもらうことを新たな活動とした。</p>
<p>3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）</p>
<p>福谷八十八ヶ所巡りの活動は、参加者全員に地域の自然環境、地域の人々のあり様や温かさ、地域の伝統文化を体験してもらうことができた。また、札所の番号の立札の設置は、昨年参加者のアンケートの要望でもあり、設置出来たことは、地域の皆さんに札所の存在を知ってもらうことの一助となり、この活動の継続につながる良い実施だと思っています。</p> <p>講演会は、地域の歴史を古文書から専門家の先生より聞くことで、より一層身近な歴史について関心をもってもらうことができ良かった。</p> <p>これらの活動は、地域の皆さんに身近な伝統文化・生活を再認識・再発見してもらう機会を継続的に提供できたことを成果と考えます。</p>
<p>4. 今後の課題と展望</p>
<p>少子高齢化で過疎化の著しい地域の数々の課題の解決し、伝統文化の継承を考え、私たちの活動を持続可能なまちづくりを目標と考え取り組むたいと考えます。</p> <p>これまでの活動は、将来に継承していく子どもたちの参加が少ないように思われます。来年度は、地元小学校やPTA、子ども会の皆さんと交流の場を持ち、父兄の皆さん、子どもに皆さんに参加を呼び掛け、子どもたちに楽しく、興味ある活動を企画したいと考えます。</p> <p>また、本年度行った聞き書き調査を次年度の主テーマとして行い、冊子として残し地域の文化継承の一助となることを展望します。</p>